
仙台まちづくり若者ラボ2023

交流によって学べるまち仙台

E仙台
(Enjoy Education)

「B教育」

メンバー紹介

岡本啓
東北大学金属材料研究所

仙台市の教育への取り組みを知りたい、関わる機会がほしいと思ったため

高村 都夢
東北工業大学建築学部建築学科（学部3年）

まちづくりに興味があり、参加してみたいと思いました

名前
所属
参加動機

玉川怜奈
東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科1年

まちづくりに興味があり、仙台で何かアクションを起こしてみたかったから

村山華蓮
仙台向山高校理数科3年

教育がどのようにまちづくりに生かせるのかという点に興味を持ったから

及川紗知
宮城教育大学教育学部3年

まちづくりという視点で教育について考えて見たいと思ったから

菊地七虹
東北学院大学経済学部経済学科2年

教育に興味がありまちづくりと共に教育に携わることができる活動に参加したかった



メンター
小野拓也

一般社団法人
ONE TOHOKUHUB

出てきた意見

まちの魅力
を知る

探究学習

生涯教育

体験学習

行政との距離

教育格差

勉強、学びの
楽しさを感じら
れる

学校外での
学び

仲間づくり

活動の方向性

「生涯学習」 × 「まちの魅力」

学校外での多様な学び
全ての人にフォーカスした学び

自分事として考えられるまちづくり
仙台ならではの「教育」

まずは仙台で「生涯学習」に関わる方に話を聞いてみよう

生涯学習支援センター 橋本 勇人 様

教育局生涯学習課 佐々木 貴幸 様



質問

- ・これまでの経験から生涯学習で大切なこと
- ・生涯学習の特徴；探究学習と何が違う
- ・ICT化の取り組み状況、構想

その他、市としてのサポート、他の事業と連携、学校や他施設との連携、社会教育士との連携、外国人との学修、活動内容、成果、取り入れ方などなど

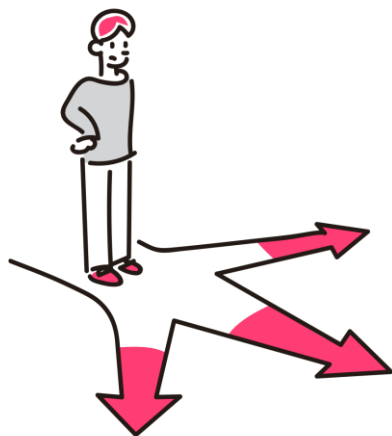
テーマ：民間で行われている生涯学習、学習のあり方について知る

・まちづくりスポット仙台

ランチ仙台を拠点とし、活動を盛り上げるための相談対応、交流スペースの運営、企業・教育機関・自治体などとの連携を通して地域のまちづくりのハブとなり、魅力ある活動の循環を生み出している。

・岩間 友希さん

まちづくりスポットディレクター
仙台市地下鉄東西線WEプロジェクト、実験広場EKITUZI、週末一軒家プロジェクトなど様々な協働型プロジェクトに参画。



チームのアクションプラン（仮）

仙台だからこそできる生涯学習

学習する上で重要なことは何か知りたい
岩間さんが感じる仙台の魅力が聞けたら良いのではないかと
探究学習ではどんなテーマで学習している生徒が多いのか

フィールドワーク 2

生涯学習で大切なこと

→人との交流があること。人との関わりからも学びが生まれる。
現在は趣味の領域が広がっており1人でできるものが増えている。



現在の学習の課題

→周りに流されてなんとなく勉強してしまっている。探究心を芽生えさせ自分で考え、自分で学習できるようにサポートする必要がある。

岩間さんが感じる仙台の魅力

→町内会の加盟率が高い。都心では3割だが仙台は7割。
まちの「らしさ」を活かすことも重要だが、どのようなまちで「ありたい」かを考えることも必要。



フィールドワーク 2

仙台らしさを知り、活かす方法を考えて行くことが必要



「らしさ」はその地域の特性であり、どのようなまちにしていきたいか、またはまた別の柱ではないか。ありたい姿が定着していくことで、そのまちの「らしさ」になっていくのではないか。



どのような仙台でありたいかを明確にし、仙台の未来につながるアクションプランを考えよう

アクション

——場所——

杜の都を感じられる大町西公園でアクションを起こすことを決めた。

——アクションプラン——

公園×アート×教育という観点から作るボード作成。アートがより緑という魅力を引き立てると考えアートも取り入れた。大町西公園で開催されるイベントに参加させていただいた。ボードを持ち歩き公園内の写真をイベント参加者あるいは一般の公園利用者からいただき、ボードに張り付ける参加型のアートにしていく。



アクション

約80枚の写真を集めることができた

——発見——

- ✓写真をもらうことを通して様々な人とコミュニケーションが生まれた
- ✓ペットの散歩、読書、キャッチボール、絵を描くなどそれぞれが公園を楽しんでいた
- ✓公園の価値について再発見した

——考察——

- ✓交流を生み出すためには？
- ✓公園の楽しみ方を様々な人に知ってもらうためには？
- ✓子どもに優しい公園を整備するには？



交流が教育に繋がる

- ◎教育の形は1つだけではない
 - ・学校教育 = 教育の全て...という固定概念
 - ・学校以外でも、学びの場や機会がある
- ◎教育はコミュニケーションである
 - ・人は1人では生きていけない = 教育は1人では成立しない
 - ・交流して楽しい時を過ごすことが大切
- ◎西公園の活動より
 - ・公園には様々な人がいて、様々な用途がある
 - ・公園は子どもにとって、遊んで学べる場所

交流をしながら学べる環境がある仙台

◎交流が活発なまち

- ・ 様々な人との交流によって、新たな人間関係や考え方に
出会える
- ・ 孤独や孤立の防止、助け合いの精神を育む
- ・ 公園や市民センターなどの活用

◎根拠を持った議論ができるまち

- ・ 教育の議論を自己満足で終わらない
- ・ フィードバックに根拠を持たせた議論によって、
既存の教育をアップデートさせる